

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	南アルプス市芦安芦倉	地区名	日入倉沢(びりくらさわ)	事業主体	山梨県
(1)事業概要				(3)事業の妥当性評価		妥当	妥当でない
①課題・背景		<p>本箇所は、南アルプス市芦安芦倉地内に位置する一級河川御勅使川の支流に位置しており、近年の集中豪雨により、渓流の荒廃が顕著となり、下流駒場地区への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出防止対策を早急に進め、保全対象の保護を図る必要がある。</p>		①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当			
②整備目標・効果				②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
□主要目標		<p>○土石流被害の防止 保全対象 人家15戸 県道 2000m 緊急度・危険度 10≧10点※ 被害軽減額 350≧340 百万円※ (※:評価基準値)</p>		③経済妥当性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				費用便益費 便益(B)÷費用(C)= 9.93 > 1.0			
				・便益(B)= 1072 百万円			・費用(C)= 108 百万円
□副次目標		—		④事業実施・規模の妥当性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・流域内に治山施設が6基整備されているが、渓床内には不安定土砂が堆積している。なお、			
□副次効果		—		⑤整備手法の有効性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効。			
				⑥環境負荷への配慮		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・切土盛土面は緑化し、裸地を残さない。 ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する。			
				⑦事業計画の熟度		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・地元南アルプス市からの強い要望あり。			
				<妥当性評価>			
				・7項目全て妥当であることから、妥当と判断する。			
(2)整備内容と整備量				(4)事業間優先度評価			
①整備内容		谷止工 4基		・貢献度ランク: a			副次効果ランク: 2
②整備期間		平成25年度～平成28年度		優先度評価: I			
③総事業費		約120百万円(国費60百万円(1/2) 県費60百万円(1/2))		(5)総合評価		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
④全体計画		平成25年度 谷止工 1基 30百万円 平成26年度 谷止工 1基 30百万円 平成27年度 谷止工 1基 30百万円 平成28年度 谷止工 1基 30百万円		・(3)及び(4)の結果から実施			
⑤既整備内容・期間・事業費		平成15年～平成20年 谷止工6基 205百万円		【事業位置図等】			
				省 略			